

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 大

上場会社名 山喜株式会社

コード番号 3598 URL <http://www.e-yamaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮本 恵史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長

(氏名) 小林 淳

TEL 06-6764-2211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,494	△6.6	△43	—	△132	—	△123	—
21年3月期第3四半期	12,305	—	△80	—	△140	—	△160	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△15.34	—
21年3月期第3四半期	△19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	13,847	5,106	36.6	631.28
21年3月期	13,526	5,265	38.6	650.49

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,072百万円 21年3月期 5,226百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	△1.4	140	—	30	—	30	—	3.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,046,233株 21年3月期 8,046,233株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 11,644株 21年3月期 11,599株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 8,034,611株 21年3月期第3四半期 8,034,650株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）のわが国経済は、国内外で実施された景気刺激策により製造業を中心とした受注増や輸出の回復傾向が出てきたものの、依然として不安定な雇用情勢や勤労者所得の低迷から、厳しい消費環境が続きました。

当社グループが属するアパレル業界においても、一部カジュアル業態を除いては、総じて小売販売額の対前年減少が続いており、低価格商材の増加やセール等の催事により購買意欲を喚起している状況です。

このような経営環境の下、当社グループにおいては、国内ドレスシャツ販売において低コストでの生産背景を生かして、量販店を中心とするお得意先に低価格商品を積極的に販売、また百貨店向けには新たに得意先PBやオーダーシャツの展開店舗を増やすことなどにより、シェア拡大に努めました。この結果、商品単価の低下により主力アイテムのドレスシャツで前年同期比6.6%、カジュアルウエアで同9.4%売上高は減少しましたが、販売枚数では前年並みを維持し、原価抑制により売上総利益率は改善することができました。

これらにより、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は114億94百万円（対前年同期比6.6%減少）となりましたが、営業損失は43百万円と前年同期にくらべ大きく改善しました。ドル安・パーツ安に伴う外貨建て資産の時価評価による為替差損の拡大により営業外費用が増加しましたが、経常損失1億32百万円、四半期純損失1億23百万円といずれも前年同期から改善することができました。

事業のセグメント別の業績は次のとおりです。

①事業の種類別セグメント

シャツ製造販売事業は、上述の要因により、売上高114億61百万円（前年同期比6.6%減）、営業損失49百万円となりました。

不動産賃貸事業につきましては、空室となっていた1物件が10月から再稼働、また1物件を新たに事業の用に供した結果、売上高33百万円（同9.3%増）、営業利益5百万円（同41.7%減）となりました。

②所在地別セグメント

日本国内においては、上述の要因により、売上高106億55百万円（同4.5%減）、営業損失31百万円となりました。アジア地域におきましては、外部向け販売の不振などにより、売上高21億89百万円（同16.2%減）、営業損失18百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は138億47百万円と前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加しました。これは売掛債権の増加などによるものです。なお、当第3四半期連結会計期間における重要な資産の変動はありません。

負債合計は87億40百万円で前連結会計年度末比4億79百万円増加しておりますが、これは買掛債務の増加などによるものです。

純資産合計は51億6百万円と同1億59百万円減少しておりますが、これは四半期純損失の計上などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月29日に公表いたしました連結業績予想から、修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等の計上基準

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,231,616	1,028,747
受取手形及び売掛金	2,634,112	2,196,163
製品	4,133,010	4,718,764
仕掛品	39,181	48,991
原材料	157,096	187,041
その他	923,687	524,576
貸倒引当金	△2,280	△1,600
流動資産合計	9,116,425	8,702,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,714,554	1,778,170
土地	2,143,722	2,152,018
その他(純額)	318,483	329,038
有形固定資産合計	4,176,761	4,259,227
無形固定資産		
投資その他の資産	385,513	392,729
投資有価証券	99,826	95,587
その他	69,624	77,854
貸倒引当金	△1,000	△1,740
投資その他の資産合計	168,451	171,700
固定資産合計	4,730,725	4,823,657
繰延資産	7	11
資産合計	13,847,158	13,526,356
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,201,088	2,554,012
短期借入金	2,621,046	2,656,373
1年内返済予定の長期借入金	918,124	733,917
未払法人税等	19,869	33,314
賞与引当金	20,100	45,750
返品調整引当金	124,000	145,000
その他	745,162	573,506
流動負債合計	7,649,389	6,741,874
固定負債		
長期借入金	664,729	1,092,745
役員退職慰労引当金	—	33,750
その他	426,806	392,722
固定負債合計	1,091,535	1,519,217

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	8,740,924	8,261,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,940,997	2,940,997
資本剰余金	2,807,517	2,946,470
利益剰余金	△884,926	△900,630
自己株式	△1,782	△1,776
株主資本合計	4,861,806	4,985,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,363	9,696
繰延ヘッジ損益	△170,392	△144,363
土地再評価差額金	368,457	368,457
為替換算調整勘定	864	7,572
評価・換算差額等合計	210,292	241,362
少数株主持分	34,133	38,841
純資産合計	5,106,233	5,265,264
負債純資産合計	13,847,158	13,526,356

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,305,415	11,494,312
売上原価	9,194,575	8,329,516
返品調整引当金戻入額	9,000	21,000
売上総利益	3,119,839	3,185,795
販売費及び一般管理費	3,200,722	3,229,436
営業損失(△)	△80,883	△43,640
営業外収益		
受取利息	8,776	4,784
仕入割引	16,411	10,188
技術指導料	25,489	—
受取手数料	—	36,210
受取配当金	2,292	1,965
その他	6,333	14,950
営業外収益合計	59,303	68,099
営業外費用		
支払利息	62,408	59,002
為替差損	36,049	78,895
その他	20,162	18,682
営業外費用合計	118,620	156,581
経常損失(△)	△140,200	△132,122
特別利益		
固定資産売却益	3,239	532
投資有価証券売却益	1	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	33,750
特別利益合計	3,241	34,282
特別損失		
固定資産除売却損	688	32
減損損失	1,437	—
その他	—	6,694
特別損失合計	2,126	6,727
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,085	△104,567
法人税等	27,253	22,039
少数株主損失(△)	△6,057	△3,358
四半期純損失(△)	△160,281	△123,247

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△139,085	△104,567
減価償却費	199,489	184,851
減損損失	1,437	—
受取利息及び受取配当金	△11,068	△6,749
支払利息	62,408	59,002
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△2,551	△500
売上債権の増減額 (△は増加)	102,920	△439,387
たな卸資産の増減額 (△は増加)	300,179	617,564
仕入債務の増減額 (△は減少)	564,297	650,418
未収入金の増減額 (△は増加)	△367,622	△426,411
その他	54,745	106,244
小計	765,149	640,465
利息及び配当金の受取額	11,165	7,064
利息の支払額	△65,838	△61,092
法人税等の支払額	△14,829	△28,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	695,646	558,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△101,230	—
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△1,979
有形固定資産の取得による支出	△150,792	△87,118
有形固定資産の売却による収入	18,471	3,897
無形固定資産の取得による支出	△500	△285
投資有価証券の取得による支出	△1,518	△1,433
投資有価証券の売却による収入	23	—
その他	344	△1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,201	△88,708
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△72,343	△15,111
長期借入れによる収入	750,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△864,096	△593,809
自己株式の取得による支出	△1	△5
配当金の支払額	△32,042	—
その他	—	△1,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,483	△260,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81,223	△11,330
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	160,737	198,113
現金及び現金同等物の期首残高	579,256	443,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	739,994	641,935

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	シャツ製造 販売事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,275,059	30,355	12,305,415	—	12,305,415
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,275,059	30,355	12,305,415	—	12,305,415
営業利益	△90,645	9,762	△80,883	—	△80,883

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	シャツ製造 販売事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,461,123	33,188	11,494,312	—	11,494,312
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,461,123	33,188	11,494,312	—	11,494,312
営業利益	△49,328	5,687	△43,640	—	△43,640

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容等を勘案して区分したものであります。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

シャツ製造販売事業・・・ドレスシャツ、カジュアル及びレディースシャツの製造販売に関する事業
不動産賃貸事業・・・・・・不動産の賃貸に関する事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,163,070	1,142,345	12,305,415	—	12,305,415
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,468,771	1,468,771	(1,468,771)	—
計	11,163,070	2,611,116	13,774,187	(1,468,771)	12,305,415
営業利益	△75,757	△17,885	△93,642	12,759	△80,883

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,655,978	838,333	11,494,312	—	11,494,312
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,351,082	1,351,082	(1,351,082)	—
計	10,655,978	2,189,416	12,845,395	(1,351,082)	11,494,312
営業利益	△31,270	△18,578	△49,848	6,207	△43,640

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域・・・アジア：タイ、中国、ラオス、シンガポール

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		比較増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
ドレスシャツ	4,923,788	69.0	5,639,435	69.6	△715,646	△12.7
カジュアルシャツ	1,907,804	26.8	2,214,728	27.3	△306,923	△13.9
レディースシャツ	299,322	4.2	246,953	3.1	52,368	21.2
シャツ製造販売事業 小計	7,130,915	100.0	8,101,117	100.0	△970,201	△12.0
不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—
合計	7,130,915	100.0	8,101,117	100.0	△970,201	△12.0

(2) 受注実績

原則として、受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		比較増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
ドレスシャツ	7,973,719	69.4	8,538,993	69.4	△565,273	△6.6
カジュアルシャツ	3,052,660	26.5	3,368,363	27.4	△315,702	△9.4
レディースシャツ	434,742	3.8	367,702	3.0	67,040	18.2
シャツ製造販売事業 小計	11,461,123	99.7	12,275,059	99.8	△813,936	△6.6
不動産賃貸事業	33,188	0.3	30,355	0.2	2,832	9.3
合計	11,494,312	100.0	12,305,415	100.0	△811,103	△6.6

(4) 改善策の実施状況

昨今の厳しい経営環境に鑑み、当社グループでは次のような経営改善策を実施しています。

1. 生産部門の効率化について

①国内工場

長崎県の西九州工場において、受注の減少に対応して、本年7月から従業員を8名削減、稼働日数も削減しております。

②海外工場

上海工場においては、本年2月に江蘇省に分工場を新設、本工場の生産ラインを一部分工場に移転することにより、工賃の抑制を図ります。また、ラオス工場においては、待遇改善による従業員の定着を図り、また日本人指導者の常駐により、早期の生産性向上を図ります。

2. 事業所再編について

①営業関係

昨年9月をもって沖縄営業所を廃止し、大阪店に機能を統合しました。

②物流関係

昨年8月に東京墨田区のジーアンド・ビー配送センターを、山喜ロジテック市川流通センターに統合、また、本年1月に大阪流通センターの出荷機能を東大阪流通センターに統合、業務効率の向上を図るとともに、大阪センターの保管能力増強により外部倉庫賃料・保管料の削減を行います。また、空室となったジーアンド・ビー配送センター建物は昨年10月から外部に賃貸し、不動産賃貸事業収入が増加しています。

3. その他

第2四半期において、役員退職慰労金制度を廃止、過年度引当額を特別利益に計上した他、昨年10月から役員報酬の一部カットを実施しています。